

## 緊急事態宣言解除後の公同礼拝のあり方

長老代務者会 2020年5月27日

教会員各位

### I. 公同礼拝を再開するにあたって

新型コロナウイルス感染拡大に伴い4月と5月の長きにわたって、公同礼拝が休止となりました。これは、10年前の会堂建築前に一時的に会堂がなくなり、共に礼拝ができなくなっていた事でもあります。この2か月の間、家庭礼拝をそれぞれが守る中、公同礼拝の大切さを改めて感じたことと思います。これから公同礼拝が再開されていくにあたって、長老代務者会としては、公同礼拝の在り方について考えを記しますので、一読いただければ幸いです。

感染のリスクと向き合いながらも、召された聖徒たちが一つの教会として心と思いを一つにし、恐れではなく喜びと感謝を持って、神様に礼拝をささげることが私たちの特権です。そして私たちがキリストのいのちに生きるために、行徳の会堂に集まって、礼拝を再開することは大きな意味があると思っています。公同礼拝を再開するという事はキリストのいのちに共に触れ、そこからこの世に遣わされていく事です。それゆえに以前の礼拝と同じように礼拝ができなくても公同礼拝を再開することは重要なことです。

緊急事態宣言解除後であっても3密を避ける必要はあり、以前と同じように礼拝をもつことは難しい状況の中にあります。特に当教会の会堂はそれほど広くはなく、一定の間隔をあけることの限度があります。そこで以下のように礼拝をささげていきたいと願っています。

### II. 礼拝に関する対応

まず、1部2部共に礼拝のプログラムは賛美を少なくすることによって時間を短縮し、人が接触する時間を少なくするようにします。皆さまには以下の事をご協力頂きたいと思っております。

- 礼拝開始30分前：礼拝奉仕者が入場する事が出来ます。
- 礼拝開始15分前：礼拝出席者が入場する事ができます。
- 入場時には、礼拝参加者に体温チェックをお願い致します。受付にて体温のチェックと手の消毒を行います。当日37.5℃以上ある場合は、入場できませんのでご注意ください。
- 受付機での記帳は受付係が行いますので、そのまま2階と1階にお進みください。新来者の方は感染があった場合に連絡をとる必要がありますので、新来者は新来者カードに必ず名前と連絡先をご記入ください。
- 席は1つずつ感覚を空けていただき座るようにご協力ください。(お子様などは間隔を空けずに近くでも大丈夫です。)
- 2階には約20名まで、1階には約10名という形で分散して座り距離をとっていただければと思います。人数が予想以上に増えてしまった場合リスクを回避するために、人数制限を行う場合があります。
- 礼拝後の退出について、担当者が誘導しますので階段で込み合うのをさけ、後部座席から

退出ください。

- 座席の人数と場所を記録するために、礼拝開始前と礼拝終了直後に写真をとらせていただきます。（記録保持のためだけに用い3ヶ月間だけ保管させていただきます）
- しばらくの間、聖餐式を礼拝の中で執り行うことを控えさせていただきます。（開始時期は未定）
- 退場後は会堂の消毒を行います、座席、ドアノブ、手すりなどを行います。消毒を行う奉仕者は当日出席した「礼拝出席者」の中から5名で行います。5名は受付時に案内しますので、可能な方は雑巾と消毒液を手にもって席に座って下さい。礼拝後は会衆の退出後、消毒をお願いします。
- 1階と2階レイアウトを変更します。ドラムセットとシンセサイザーを3階に移動し、ドラムセットの位置にピアノを移動し座れる場所を広げます。
- 週報ボックスの場所が込み合うことをさけるために、週報ボックスへの配布物はなくし、配布物は受付で渡すようにします。

### III. 奉仕に関すること

礼拝の奉仕に関してですが、まだ終息まもない中で礼拝への参加をためらっておられる方への配慮も必要と思います。私たちの奉仕は強制ではあってはなりません。喜んでささげる事を前提に信仰によって奉仕していければと考えます。この時期に礼拝をささげる事は感染リスクがゼロではありませんので、各自が信仰に基づき判断してください。礼拝に出席される方も、礼拝を欠席される方も互いの事をいたわり合い、尊重してください。ただ、礼拝奉仕者が足りないことも考えられますので、奉仕者が足りない場合に備えて臨機応変に対応していければと考えています。献金祈禱の奉仕は事前に奉仕をお願いするかたちで礼拝をしていきたいと願っていますが、他の部分に関しては、全体祈禱を含め牧師、教会スタッフが代わりに行います。奏楽やワーシップの奉仕に関しては代わりができない為、奉仕者が守られるようにお祈りください。

### IV. 感染者が発生した場合の時の対応について

万が一、礼拝出席者の中で新型コロナウイルスへの感染が認められた場合は、速やかに牧師または、教会スタッフまでご連絡ください。他の方のいのちに関わる事柄ですので、速やかにご連絡の協力をお願いいたします。感染者が出た場合は、当日の写真記録を再度確認して、近くにいた方に電話等でまず連絡をいたします。次に、公式ラインと小グループのラインを通して感染者がいた事を公表いたします。その場合、プライバシー保護と感染における差別防止のために、適切な処置がなされるまでどなたが感染したかは情報を控える事がありますのでご了承ください。また、感染が確認された場合は、2次感染を防ぐために、再度共同礼拝を休止いたします。情報が回りましたら、パニックを起こさないで、速やかに適切な医療機関で医療検査などを実施するようにしてください。また、保健所などに対して、必要な個人情報を提供することがありますので事前にご了承いただければと思います。

以上

## ～当日の共同礼拝の流れ～

### ■奉仕者の流れ

#### 30 分前

入場可能  
当日奉仕者の確認  
礼拝前の備えのお祈り  
連絡事項の確認  
音響の準備  
受付で渡す資料、献金袋の確認

#### 15 分前

当日奉仕者は前列で準備ください。

#### ●受付奉仕者、玄関に準備

マスクの確認  
体温チェック（37.5℃以上は入場不可）  
消毒液による手洗いを促す。  
教会員には献金袋、案内など手渡し

#### ●司会者

礼拝前の座席記録の写真を撮る  
礼拝の備えを導く

#### 礼拝開始

#### 礼拝終了

司会者が礼拝後の座席記録の写真を撮る  
担当者は退場の誘導を行う

#### 退場後

受付奉仕者は人数チェック  
座席記録票は写真をメールに添付して送信  
消毒奉仕者はその場に残る  
消毒奉仕者により、椅子、手すりなど消毒  
トイレの便器、ドアのノブなど消毒  
雑巾は教会で洗って、干してください。

### ■礼拝会衆者の流れ

#### 礼拝参加可能条件

マスク装着  
（ない方は受付でもらってください）  
37.5℃以上の熱がないこと  
体調が良好であること

#### 15 分前

受付開始  
体温チェックを受ける  
手の消毒を行う

先着順で、当日の消毒奉仕者の受付をお願いします。奉仕が難しい場合はできない旨をお伝えください。

教会からの案内（献金袋）を受け取ってください。

2 階席と 1 階席は 1 席ずつ空けてソーシャルディスタンスをとり席に着いてください。

礼拝前の備えをしてください。

#### 礼拝開始

#### 礼拝終了

後列から担当者の誘導に従い、退場する  
礼拝後の交わりは必要がない限り行わず速やかに会堂から退出する。